

保護者様

千葉県立高洲小学校
校長 宮原 尚

学校評価（後期）の結果報告

余寒の候、保護者の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先般、児童・保護者・教職員を対象として、高洲小学校の後期の教育活動について振り返るためのアンケート調査（※1）を行いました。ご協力ありがとうございました。その結果（※2）がまとまりましたので、ここにご報告いたしますとともに、来年度の教育活動に生かして参りたいと存じます。

（※1）評価項目は、学校教育目標・めざす児童像に準拠しています。

（※2）以下の表に示しています。数値は、皆様から4段階で回答して頂いた評価の平均値です。

数値が高いほど望ましい評価となっています。なお、/は、データを取っていないことを示しています。また、**太字・下線**は、前期より上がっている、**太字・囲み**は下がっていることを示しています。

番号	評価項目	児童		保護者		教職員	
		R02 前期	R02 後期	R02 前期	R02 後期	R02 前期	R02 後期
①	学校や学級で楽しく過ごしている。	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.4
②	自ら学習しようとする姿勢が見られる。	3.3	3.3	3.0	3.0	3.2	3.0
③	すすんで読書している。	3.2	3.1	2.7	2.7	2.9	3.0
④	文を書くのが好き。	2.8	2.9	2.4	2.4	2.5	2.4
⑤	宿題やお手伝いをきちんとしている。	3.2	3.2	3.2	3.3	3.0	3.0
⑥	ルールや約束を守って生活している。	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.1
⑦	自分から挨拶をしている。	3.3	3.3	3.1	3.1	3.0	2.8
⑧	友達と仲良くしている。	3.7	3.6	3.6	3.6	3.3	3.3
⑨	帰宅後や休日に外遊びをしている。	3.1	2.9	3.0	2.9	3.2	3.0
⑩	学習の準備や身の回りの整理整頓を自分でしている。	3.3	3.2	3.0	2.9	2.9	2.6
⑪	早寝・早起き・朝ごはん等、規則正しく生活している。	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1	3.0
⑫	学校や身の回りの出来事などを家の人に伝えている。	/	/	3.3	3.3	2.8	2.9
⑬	学校・学年だより等を通して、学校の様子がよく家庭に伝わっている。	/	/	3.1	3.2	2.9	3.1
⑭	学校には保護者が気軽に相談できる雰囲気がある。	/	/	3.3	3.3	3.4	3.2
⑮	けがや事故に対して学校はていねいに対応している。	/	/	3.5	3.5	3.6	3.6
⑯	学校は保護者や地域と協力して教育活動を進めている。	/	/	3.4	3.4	3.1	2.9
評価全体の平均		3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0

II 考察

1 全体について

後期は前期と違って休校や閉鎖措置をとることがなく過ごせましたが、学習活動や休み時間の過ごし方に制限はありました。グループ活動ができなかったり、体験学習が行えなかったりしました。

そのような中での評価であることをふまえると、児童の評価の数値が多く項目で高いのは、児童が現在の生活様式を受け入れた中で精いっぱいがんばったことを示しています。

また、保護者と教職員の評価も前期より上がっています。学校生活や家庭の中で、児童が前向きにがんばっている姿を感じることができた結果だと思えます。

2 学校教育目標「考える子」・めざす児童像「進んで学ぶ子ども」に関して *評価項目 ②③④⑤⑩

達成率が三者とも高かったのは、②⑤です。進んで学習する態度や宿題や手伝いなど自分がしなければいけないことを行う習慣は身につけていると言えます。

三者内で評価が分かれたのは、③⑩です。③の読書については、学校では前期に比べて貸出冊数が増えているので、児童と教職員の評価が高くなっています。しかし保護者の評価はあまりよくありません。学校で借りた本を家で読む習慣がついていないことが考えられます。今後は、「ノーマディアデー」の活用の仕方や読書についての取り組み方をもう少し工夫する必要があります。⑩の整理整頓については、児童と大人の評価が分かれています。子どもからしてみれば十分にできている状況でも、大人からしてみれば手助けをしたり十分といえる出来ばえでなかったりすることがあり、評価が違ふと考えられます。今後は、学校や家庭で、物の片付け方、片付ける場所等を具体的に児童に示していきましょう。

④の数値が低いのは、書くことに苦手意識をもっている児童がたくさんいることを示しています。「どのように書いたらいいのかわからない」と思っている児童への支援を考えていきたいと思えます。

3 学校教育目標「やさしい子」・めざす児童像「人を思いやれる子ども」に関して *評価項目 ①⑦⑧

①⑧については、三者とも評価が高くなっています。児童が学校で友達と仲良く、楽しく過ごしていることがわかります。

⑦は評価が低いわけではありませんが、児童と教職員に差が見られます。教職員は、児童から進んであいさつをすることより、教職員があいさつをしたら児童があいさつを返すことが多いと感じていることを表しています。今後は、あいさつ運動の取り組み方を工夫したり、道徳の授業を通して進んであいさつをする気持ちを高めたりしていきたいと思えます。

4 学校教育目標・めざす児童像「たくましい子ども」に関して *評価項目 ⑥⑨⑩

⑥は三者とも高い評価になっていることから、児童が学校のきまりを守って生活できていることがわかります。今後もきまりを守って生活できるよう、きまりを明確にして支援していきます。

⑨⑩については、児童や保護者の評価に比べて教職員の評価が低くなっています。これは、休み時間に晴れていても室内遊びをしている児童や遅刻をしている児童が多いことを示しています。また、体調を崩す児童の中には、夜更かしをしている児童や朝ご飯を食べてこない児童がいることがわかりました。今後は学校と家庭の連携を強化し、協力し合って規則正しい生活習慣が身につくようにしていきたいです。

◇⑫～⑯について、保護者の皆様に高い評価をいただきました。ありがとうございます。今後も学校の様子が家庭へ伝わるように各種たよりの工夫や相談できる雰囲気づくりに努めていきます。

…お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました…